

令和6年6月5日

鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請について

松浦鉄道株式会社（本社：長崎県佐世保市、代表取締役：今里晴樹）では、令和6年5月29日付で国土交通省九州運輸局に鉄道事業の旅客運賃上限変更に関する認可申請を提出いたしました。

認可を受けた後、上限運賃の範囲内でお客様から收受する実施運賃の届出を行なう予定です。

なお、運賃改定の実施は令和6年10月1日を予定しております。

記

1. 申請理由

当社は、平成28年4月に平均10%の運賃改定を実施してから8年近くが経過しましたが、この間、安全運行に直結する施設整備を着実にを行い、安心安全な列車運行に日々努力すると共に、お客様に「知ってもらう」「見ってもらう」「来てもらう」「乗ってもらう」をキャッチフレーズに、ビール列車、アフタヌーンティー列車、ワイン列車などの企画列車の運行、地元の小中学生を中心として駅壁画の設置、夏休み小中学生無料乗車券配布など、沿線地域の皆様に喜んで頂けるようなイベントや利用促進策を継続してまいりました。こうした営業施策を展開した結果、平成22年度から令和元年度までの10年間における定期以外の一般のお客様は、前年を上回る推移を見せておりました。

しかしながら、沿線地域の人口減少に加え、令和2年1月頃から全世界へ感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響が経営を直撃し、当社の収益状況は、著しく悪化いたしました。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に下がったことを契機に、人々の移動制限が緩和され、乗降人員数も回復して参りましたが、令和5年度の年間合計ではコロナ前の水準までは回復しない見込みです。

一方で、国際紛争の高まり等による燃料軽油価格の高騰、資材仕入価格の上昇、さらには、最低賃金の引き上げによる人件費アップなどのコストアップ要因が加わりましたので、国及び沿線自治体からコロナ対策資金及び燃料高騰対策資金等の支援を頂いた結果、令和2年度から令和4年度の最終損益は、2千万円未満の赤字に留まり、令和5年度も同程度で収まるものと予想しております。

今後の松浦鉄道のあり方については、佐賀・長崎両県及び沿線6自治体によって議論を深めることとなっておりますが、燃料軽油単価の高止まり、資材価格の上昇傾向は暫く続く事が予想されております。また、コロナ禍を経て運転士を中心とする人材不足が顕著となっており、人材確保のための人件費増も予算に織り込む必要があります。

こうした厳しい状況を打開し、松浦鉄道が沿線地域の公共交通として、安全・安心のサービスを持続的に提供するには、収支の改善が不可欠と考え、令和6年10月1日から平均19%の運賃改定（値上げ）を決断いたしました。

お客様にはご負担をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2. 申請の概要

(1) 運賃の認可制度について

鉄道事業の旅客運賃については、鉄道事業法に基づき、鉄道事業者の「上限運賃」を国土交通省が認可する「上限運賃制」となっています。上限運賃が認可されると、上限運賃の範囲内で「実施運賃」（実際にお客様から収受する運賃）を設定いたします。

当社の場合は、通勤定期や普通運賃の一部を特定運賃として若干低めに設定しておりますので、上限運賃変更の認可が下り次第、速やかに実施運賃を届け出る予定です。

(2) 申請日及び改定

①申請日 令和6年5月29日

②改定予定日 令和6年10月1日

(3) 増収見込額及び見込率 (単位：千円)

	増加額	増加率
定期外	220,446	18.0%
定期	152,735	19.0%
合計	373,182	18.3%

※上限運賃を変更した場合の令和7～9年度における3年間の数値となります。

(4) 主要区間における運賃比較表

運賃区分	上限運賃		実施運賃 (予定) 実施運賃は上限認可後に届出	
	現行	申請	現行	届出
普通大人運賃	※実施運賃のうち特定運賃			
有田～伊万里	460円	550円	460円	550円
佐世保～泉福寺	280円	330円	※230円	※270円
佐世保～大学	460円	550円	※390円	※460円
佐世保～佐々	630円	750円	※550円	※650円
通勤1ヶ月定期券				
有田～伊万里	17,270円	20,460円	17,270円	20,460円
佐世保～泉福寺	10,110円	12,280円	※8,840円	※10,520円
佐世保～大学	17,270円	20,460円	※15,010円	※17,860円
佐世保～佐々	23,160円	27,900円	※21,630円	※25,740円
通学1ヶ月定期券				
有田～伊万里	11,980円	14,190円	11,980円	14,190円
佐世保～泉福寺	7,020円	8,520円	7,020円	8,520円
佐世保～大学	11,980円	14,190円	11,980円	14,190円
佐世保～佐々	16,060円	19,350円	16,060円	19,350円

(5) 運賃収入(上限運賃による予測)

(単位：百万円)

	令和4年度 (実績)	令和5年度 (予測)	令和6年度 (予測)	令和7～9年度予測 (3年間の合計)	
				現 行	改 定
定期外	336	395	438	1,227	1,448
定 期	245	279	302	806	958
手小荷物	0.3	0.3	0.3	0.8	0.8
合 計	581	674	740	2,034	2,407

※ 手小荷物は、宅配事業者の貨客混載による手数料収入です。

(6) 収支実績及び予測

(単位：百万円)

	令和4年度 (実績)	令和5年度 (予測)	令和6年度 (予測)	令和7～9年度予測 (3年間の合計)	
				現 行	改 定
収入 A	687	778	847	2,367	2,740
支出 B	940	950	981	2,852	2,844
差引損益	△253	△173	△134	△485	△104
収支率 A/B	73.1%	81.8%	86.3%	83.0%	96.3%

※1 収入には特別利益が含まれておらず、支出には特別損失及び法人税等が含まれておりません。

※2 令和5年度及び6年度予測は現行の上限運賃をもとに予測し、令和7～9年度は申請中の上限運賃をもとに予測しております。

(7) 施設整備に係る設備投資及び修繕費実績・計画

(単位：%, 百万円)

	令和4年度 (実績)	令和5年度 (予測)	令和6年度 (計画)	平成7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
設備投資	133	144	264	250	262	244
修繕費	121	112	132	118	113	84
合計	254	256	395	368	375	328

3. これまでの経営改善の状況及び今後の取組

(1) これまでの主な経営改善の状況

- ①一般経費の見直しによる経費節減
- ②鉄道用地の賃貸、駐車場経営等による収入増
- ③ヘッドマーク、車両ラッピング等による広告料収入増
- ④貨客混載事業に実施による手小荷物収入増
- ⑤全国共通 IC カードシステム (nimoca) の導入

(2) 今後の主な取組

- ①たびら平戸口駅における宅配荷物の取次ぎ
- ②遊休資産の更なる有効活用

4. 運賃の据え置き

お客様に好評を頂いている企画商品につきましては、お客様の負担を抑えるために今回の改定では運賃を据え置きいたします。

(1) 一日乗車券

ご希望の日の一日がどの列車も乗り降り自由となる 2,500 の乗車券です。(小学生は 500 円)

(2) 一日乗車券(65 歳以上の会員制)

65 歳以上の方で会員(会費 1,000 円、1 年毎の更新料 500 円)になって頂くと、ご希望の日の一日がどの列車も乗り降り自由となる 1,500 の乗車券です。

5. 利用者へのサービス企画

(1) 夏休み恒例企画として、令和 6 年度(7/15~9/1)も小・中学生に無料乗車券を配布し、同伴される方には同伴者割引 1 日乗車券を 500 円で販売します。

(2) イベント列車として、ビール列車、アフタヌーンティー列車、ボジョレヌーボーワイン列車、ほろ酔い列車などについては、今後も継続して運行いたします。

以 上